

■ 「鯖江市地域公共交通網形成計画」変更点の概要

※赤字は第2回協議会以降に変更となった内容

今年度、「鯖江市地域公共交通再編実施計画」の策定に際して、地域公共交通の運営内容について実施に向けた検討を行いました。その結果を昨年度策定した「鯖江市地域公共交通網形成計画」に反映するため、以下の4点について計画内容の変更を行いました。

1. 計画期間の延長

地域公共交通網形成計画の計画期間は、地域公共交通再編実施計画の計画期間を含んでいる必要があります。本計画の策定時の計画期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間ですが、再編実施計画の期間は平成29年度から平成33年度まで（制度上最長5年間）となるため、期間の延長が必要になります。

加えて、平成34年度末を目指している北陸新幹線敦賀開業への対応も必要になることから、本計画の計画期間を平成28年度から平成34年度までに延長しました。

2. つつじバス年間利用者数の目標値修正

再編による効果を分析しながら、平成34年度における年間利用者の目標値を 23.2万人としました。（修正前20万人）

3. 福鉄バスに関する内容の追記

地域公共交通の幹線交通の強化策として、福鉄バス鯖浦線の JR 北鯖江駅延伸、南越線の北中山公民館延伸を行うことになりました。

これにより、目標を達成するための事業として掲げた「(1) 幹線交通の運行」は再編事業となり、名称を「(1) 幹線交通の一部再編・運行」に修正しました。

この内容を本計画に反映するため、南越線の利用状況の記載を追加するとともに、事業内容にも各バス路線の延伸内容を記載しました。

4. つつじバス再編内容の変更

つつじバス運行内容の再編検討により、各路線の運行内容（事業内容、運行経路等）が変更となったため、その内容を本計画に反映しました。

- ・ 幹 線 → 運行する時間帯に応じて、朝夕に各地区と主要駅を連絡する「通学便」と昼間に市内各地区を連絡する「昼間便」に区分して運行
- ・ 広域線 → 福鉄バス南越線で対応するため削除
- ・ 支 線 → 実施に向けた運行内容の検討により運行経路、運行時間、バス停等を更新

5. その他時点修正

- ・ 廃線としたつつじバス「歴史の道線」の記載内容を削除
- ・ 福鉄バス、つつじバスの利用状況に平成27年度のデータを追加